

全体ミーティング 2

令和 5 (2023) 年 3 月 5 日 (日) 13:30~16:30

これまでの検討経緯と宮前区 SDC 像の説明 (案) の紹介

00:00:05

株式会社石塚計画デザイン事務所 千葉

- これまでの検討経緯です。
- ここはもう皆さん、何度も言っているというか、見ているものだと思いますので、簡単に行きますが、5 年前、平成 30 年の 2018 年度からいろいろ検討してきたというかなり長い検討のプロセスになります。
- 最初は、活動相関図づくりとか、マップをつくったり、あと現場の体験でツアーをしたり、現場の体験をもとにアイデアの柱をつくったりとしていった流れがあるんですが、コロナ禍に入って、ちょっとお休みを挟んで、SDC の機能のお試しの実施ということで、ラウンドテーブル 3 つのテーマに分かれて、例えばこういうことをやってみたのはどんなことができるんだろうということを考えながら、結構今見ると複雑な SDC 案というものが出てきました。

00:01:01

- それをもとに、これ今年度になるんですけど、SDC の立ち上げに向けた具体的な検討ということで、この場ね、ワーキンググループというものが立ち上がってきました。ここでは逆に、
- (挨拶してなかった。石塚事務所の千葉です。よろしくお願ひします。あと吉川です。)
- お手伝いをする役割は、本当に裏方に回らせていただいて、どちらかという、皆さんがメインで検討してきた場だと考えております。
- どんな人というときにさまざまなバックグラウンドを持つ区民、そして区役所の職員、企画課、地ケア推進課、生涯学習、地域振興といったいろんなセクションの人たちがここに集まっていて、今日もね、後ろの方に座っていますけど、区役所の課を横断して今日来ています。
- 何を検討してきたかという、この SDC の目的やコンセプト、立ち上げ時にどんなことを取り組むのか、どんな機能なのか、運営方法や体制、そして検討に必要な視察を実施するといったことを繰り返してきました。

00:02:05

- そして、それをぱっと 1 枚で表現すると、このキックオフから今日の振り返りというか今日の会につながるんですけど、その大きな全体会って言われている会と、あと、SDC の視察ということでいろいろ見てきましたということと、あと Zoom とかオンライン会議も使いながら、そしていろいろ

案も資料とかも整理していただきながら、議論をしてきた検討ミーティングというのがありました。

- リアルでやる場もあるし、Zoom でやることもあって、これを数字で振り返ってみると、

00:02:37

- 最初のキックオフは 29 名の参加の会だったと。で、SDC の視察は中原区、多摩区、幸区を見て 25 名延べ参加したという視察になります。
- ここで、宮前はどのような方向かということ議論する手掛かりになったのかなと思います。
- そして、全体ミーティングを 5 回と。延べで 71 名が参加しています。
- テーマ別のミーティングということで、2 つのテーマで最初スタートしました。
- 「しくみを考える」と「動かしてみる」ということで進めてきましたが、途中で 1 つになったりしています。それも月一回で計 11 回、延べ 115 名ということで、かなりお疲れさまです。かなり議論をしてきたという形になりました。

00:03:29

- ただ、すごく長い資料として、今日用意しているというより、結果としてシンプルにしていく流れだったのかなと思っており、一つ大事なのがまず特徴と課題ということかなと思います。
- 特徴は、さまざまな人、活動、団体が区内それぞれの地域で活動して根を張って、地域を支え、地域の魅力を生み出している。
- 他区と比べて中心的な場所がない。センター的な、拠点的な場所というのはあまりないよね、という話が特徴として挙げられました。
- あと課題のところ、宮前区に住んでいるが、宮前の魅力を知らない、都内で活動していて、とってもスキルが高い人がいるんだけど、地域でキャッチできていない。なので、潜在的な力があるけど、活かされてないのではないかなというところに特徴や課題をわりと絞り込んで置いています。
- それを SDC でどう取り組んでいくのかというのは、右に書いてあるんですけど、様々な人や団体がそれぞれの特徴を活かして、フラットな関係で課題の解決に取り組んでいく。このフラットな関係というのが宮前らしいというか、取組なのではないかということが 1 つ。
- そして立ち上げ時は、常設の場所や拠点を設けずにスタートしようということで、例えば幸区とか多摩区は拠点がありましたよね。でも中原はなかった。どっちがという時に、宮前の場合は場所や拠点を設けないスタートということで良いんじゃないかというのが議論の結果、導き出されております。
- もう 1 つは、宮前区内の関わりやつながりがない人、世代を巻き込んでいくことで、こういった会をやると同じ人ばかり集まるんだよねという話がよくありました。
- 新たに SDC を開いていくときに、新しい人が参加できるようにしていかないと、結局同じことだよなという声もあったので、関わりやつながりがない人どう巻き込んでいくのかが大事。
- もう 1 つが地域、家以外の場所、サードプレイスにつながりや居場所を求めている人がそれを見つけられるということで、何か SDC がきっかけで新しい人がつながり、そして居場所が見つかっていく。そういうようなことに SDC が機能していったら良いよね、ということがあるのかなと思います。

00:05:47

- それで、整理したのが、いろいろ紆余曲折あって、今こういう形なのかなというのがこの4つになります。
- 宮前区のSDCの機能は大きく、左は「つなぐ／コーディネート機能」、そして右は「生み出す／プロジェクト実施機能」というのがあると。で、最終的に順番ということもなく、それぞれが機能することがあるよねということなので、どこにも矢印が入っているし、あちらこちらに行けるようになっているんですが、ストーリーとしては一応この左からいきますね。
- 1つは小さなニーズが自然とつながるといって、ゆるやかに集まってつながるといって機能です。人が集まると、人、情報、知識、歴史、資源が自然とつながってくるだろう。さまざまな世代や属性の人が参加できるようなきっかけをつくっていくことができる、まちづくりに普段関わらない人が参加する。新しい人が参加できる。まずはこういうゆるやかなつながりの場をつくるのが、まず入り口にあり、その中で集まってきた人がやりたいことや、地域の課題をみんなで共有して考えるってことがあるだろう。
- なので、集まってきた人が「こんなことを話したいよね」「こういう問題を解決したいよね」ってきつってきつってきて、それが「これ課題だよ」「みんなの課題だよ」となり、そこで関心分野やテーマということで「これなら参加したい」「私はこれを解決したい」という人が出てくるだろう。
- さらに、それをやるために議論をしたり、課題を認識するだけではなく、実験的に何かやってみるといって、この実験してしくみを考えるということなんです。
- お試しで実施するというのは、やりたいことの実現、話題解決に向けて、必要なステークホルダーを集めてお試しで実施する・効果を検証するということです。昨年度、ラウンドテーブルでやったことも、ある種そういうことで、例えば公園で実施したらどうということだろう。
- コジマさんでマルシェやったらどうということになるんだろうといって、例えば具体的に実験して、そこで何か答えが出たら、SDCから離れて、そこはそこで実施していくみたいになる。なので、実験し、実現を手伝うために持続可能なしくみや体制・検討が必要だよ。SDCがずっと関わっていく必要はないんだけど、継続するための体制やしくみを考えるところまではSDCで考えていたりする。関わっている人、ステークホルダー同士のスキルやノウハウを活用していくということ、ぐるぐる回していける場所になるのがSDCなのではないかと。
- ある意味、もしかしたら実験からスタートしようって突然くるものもあるかもしれないし、必ずしもこうゆう流れにならなくてもいいから、この4つがあるのではないかと。

00:08:32

- ただし、これをいきなりやるのって大変だよという話があって、次のスライドになるんですけど、最初は課題解決とか実現とかよりも、まずゆるやかに集まってつながる場所をつくっていきよ、と今なっていると整理しています。
- そこからテーマ別の分科会が生まれるといいよね。ただゼロから始めると集まる理由がなかなかつけづらいので、今日は2つすでに考えていて「おしゃれなごみ拾い」、そして「おしゃれに定年男性が集まれる地域の関わりのきっかけをつくる」という呼び水を作って、これをやってみよう、が今ここだと整理しております。

- それをやっていくうちに、ここに集まってくれた人たちからどんどんテーマが生まれてきて、1枚前のスライドにあるような場から、色々な課題が整理されて動いていくということが起こるようにしたいなという、2段階に整理したというのが、今年のワーキンググループの議論の振り返りです。

00:09:43

- ここからは、ソーシャルデザインセンターとは、になるんですけども、これは初めて聞いた人に説明する時ってこういうことかなというものです。
- 色々足りないところもあると思うんですけど、「ソーシャルデザインセンターとは」ということで、宮前区版はめざすことは、参加する人はつながりや場所を発見して、新しい価値を創出する、地域の課題を共有、そしてすぐにではないけど、解決もできるようになったらいいよねというのが宮前区版の目指すことです。将来像みたいなものですね。
- どうやって？という時には、様々な人や団体がつながる場所とか、場や機会をつくって取り組みを応援するのがSDCのやり方です。できることは？ということで、ここでまた新しい用語が出てくるけど、「(仮称)ゆるやかに集まってつながる会」。これは視察に行った人は分かると思うんですけど、中原区のYORIALの宮前区版の言葉。仮称なので、叩いていただくイメージです。
- それに参加することで、ゆるやかに集まれる、つながれるということと、やりたいこと課題を持ち寄れるということができるとしてまず説明するのかなと思っています。

0:10:55

- そして、さっきちょうど出てきた「ゆるやかにつながって集まってつながる会」というものは、3、4カ月に一回程度開催し、区役所とかでやって、誰でも参加できて、参加方法はわからない・これからです。
- 各回の進め方ということで、資料の方だと見られると思うんですけど、線が消えちゃっているんですけど、例えば各回が2時間半の会だったとしましょう。まず30分宮前区のSDCを紹介し、例えば、おしゃれなごみ拾いテーブルと、おしゃれに定年男性が地域と関わるテーブルに分かれて、それぞれ盛り上がる。
- それをもとに全体で共有し、自由に交流するみたいな、ざっくり言うところゆう会を3～4カ月に1回やるんじゃないかと。

0:11:45

- 3～4カ月に1回って、毎月ってことも言ってなかった？という話があると思うんですけど、毎回それをやっていくと、整理ができないと思うので。例えば企画をしてやる、そこで集まったものを整理して行って、またやるみたいな感じの、企画して、全体に戻していくみたいな流れが必要なのではないかということで、こう整理しています。
- じゃあここ[企画]は誰がやるのということが多分出てくると思いますので、そういうことも含めて詰めていけたらなと思っているということが2023年度のスケジュールになります。なので、4月以降のスケジュールですね。
- それで、SDCの取組の報告周知ということで、先ほどの5月の市政だよりで、こういうもの[他区

の市政だよりの SDC 特集] を出していこうと思っていて、例えば、今議論したことを元に、宮前区ではこんな SDC が始まります。そして、この第 1 回というところで、さっそく参加者を募集します、みたいなことが、お知らせされるんですね。

- あと、「宮前区 SDC 報告会」というのは、これは外向けに SDC をやりつつ、やっている人の中でちゃんと振り返っていくってことをやりながら、進めていくイメージを考えていて、ここは宮前区 SDC 報告会というのと、ゆるやかに集いつながる会というものが何らか関係を持ちながら進んでいくということで、書いています。年 2 回程度ということですよ。こういうのも入れさせてもらって、これも含めて議論ということかなって思います。

0:13:26

- 最後、宮前区 SDC で大切にしたいことということで、これが皆さんからワーキンググループで出てきた言葉を、大きく 5 つに整理してみたものです。
- 1 つ目はみんなでワイワイ楽しみながら気軽に企画参加しようということがある。あと、若い世代が地域の宝。みんなでサポートしよう。そして現在の取組内容は、立ち上げ時のものなので、実践を積み重ねて、ニーズに合わせて形を変えていこう。なので、オープンしている時にあんまりこれがという固めた印象でスタートしなくてもいいというのが、ゆるくスタートしようということかなと思います。
- これは結構大事ですけど、さまざまな年代や属性の人が対等な立場で話し合える、参加できる場にしようということ、このフラットな話にしていきたい。そして、かつ先人の知恵を最大限に生かしてさらに素敵な宮前区を目指そう。たくさんの活動が宮前区にあるのでそれをちゃんと踏まえながら、ゼロスタートではなくて、活かしていこうねと。
- 動いている人のところに、人と情報が集まってくる。小さくても良いので、まずは動いてやってみようということで、小さな取組からやっていこう、としています。

0:14:41

宮前区企画課 山田

- 補足ですが、突然ゆるやかにつながる会という名前を付けさせていただいたんですけど、これはもう本当に仮称なので、決めたほうが良いなと思っていて、これ何かというと前回まで行っていた「(仮称) 定例会」の話です。
- 定例会自体が、こういうみんなで議論、企画を考える会というのを定例会と思っちゃう人とかもできるので、イメージが分かりづらかったかなと思って、とりあえず今のプログラムに合わせて、ゆるやかに集まってつながる会にしてみたんですけども、この名前もぜひゆくゆくはちゃんと決めていきたいなと思っています。
- あと、前回まではスケジュールのところだと、毎月この「ゆるやかに集まってつながる会」、元仮称定例会、をやるといような形でお話していたと思うんですけども、やっぱり前回の皆さんの雰囲気とかを踏まえて、やはり 2 月 11 日に企画、それぞれと 2 つに分かれて企画していただいたんですけども、そういう会がないと多分ゆるやかにつながっていく、広く皆さんに周知して集まっていたことが結構なかなか難しいし、毎月それをやるのかなり難しいのかなと思って、今一応 3 カ

月から4カ月に一回程度というふうにしてはどうかと思います。

- それに向けてできれば、2月にやったり、今日もやるようなことを、ぜひ皆さんにも引き続き関わっていただいて、企画を決めて、これにつなげていくいくみtainな流れでどうかということ、今仮に、こちらとして考えていますということで、そこも合わせて皆さんで議論をしたいなと思っています。

0:16:29

千葉

- はい、ありがとうございます。